

V章 調査研究・学会発表実績

1 その他の調査研究事業

令和2年度

学会等の名称	題目・論旨（担当課名）	著者名（発表者名）等
第66回 大分県公衆衛生学会	<p>題目：医療的ケア児災害時個別支援票作成過程における支援者間の連携強化</p> <p>論旨：北部地域では、平成27年12月から「医療的ケア児支援定例会議」（以下、定例会議）を開催し、定例会議で出された課題の評価等を行う「医療的ケア児支援の在宅療養支援関係者検討会」（以下、関係者検討会）を年1回開催している。定例会議を中心に「医療的ケア児災害時個別支援票」を作成。この過程において関係機関の連携が強化できるよう保健所が配慮したことや試行的実施結果を報告。今後は、関係機関と連携しながら個別の支援票を保護者とともに作成する。あわせて、地域住民へ支援の輪を広げていく。</p> <p style="text-align: right;">（地域保健課）</p>	<p>○ 首藤 佐織 鈴木 麻理鈴 永松 ゆきの 植木 小百合 梶原 美佐 山下 剛</p>
	<p>題目：医療的ケア児の保護者交流のあり方～ニーズに基づく試行的取組～</p> <p>論旨：医療的ケア児の保護者が抱える様々な困りの中から保護者同士の交流に焦点を当て、既存資料の分析やアンケート調査を実施。結果から保護者のニーズに合った2つの交流会を開催した。対象者の居住地で行った交流会では、市の担当者に参加してもらうことで保護者が直接行政へ要望を伝える機会になった。医療的ケア児保護者団体同士のオンライン交流会では、人が集まる場所に行きたくない・移動が大変と考える保護者も参加しやすくなっただけでなく他圏域の方と交流できる機会にもなった。今後も対象者のニーズに合った保護者交流を考え実施していきたい。</p> <p style="text-align: right;">（地域保健課）</p>	<p>○ 永松 ゆきの 鈴木 麻理鈴 植木 小百合 首藤 佐織 梶原 美佐 山下 剛</p>
令和2年度 食品衛生監視員・と畜 食鳥検査員・狂犬病予 防員研究発表会	<p>題目：低温調理をおこなう食肉製品製造業者の監視結果について</p> <p>論旨：いわゆる低温調理といわれる製法により、牛・豚・鶏の肝臓や心臓を原料とした見た目や食感が生のような加熱食肉製品を製造している業者に対し、立入調査を行った結果、製造基準が遵守されていることが確認できた。 客観的に製造基準が遵守されていること評価できるように、HACCPの導入を支援し、製造に関する手順や記録方法を定めた。</p> <p style="text-align: right;">（衛生課）</p>	○ 高橋 尚敬
令和2年度 食品衛生監視員・と畜 食鳥検査員・狂犬病予 防員研究発表会	<p>題目：取去検査結果不良施設に対するの衛生指導方法の検討</p> <p>論旨：今年度、刺身及び未加熱そうざいの取去検査において、同一施設が細菌数（大分県食品衛生指導基準）を超過したため、調査・指導を行った。その際、汚染度の数値化・可視化を行いインパクトのある指導を行った結果、事業者の食品衛生意識向上が図られ、良好な食品の提供につながった。 今後も、積極的な衛生指導を行っていき、再違反施設数ゼロを目指していく。</p> <p style="text-align: right;">（衛生課）</p>	○ 利光 真明
令和2年度 食品衛生監視員・と畜 食鳥検査員・狂犬病予 防員研究発表会	<p>題目：大分県北部保健所における猫に対する取組と不審死事例1例について</p> <p>論旨：猫の殺処分数を減らすため、令和2年度から「おおいたさくら猫プロジェクト」を開始した。その結果10団体の登録が行われ、23匹の不妊手術を実施することができた。令和2年6月からは、猫の原則引取り拒否を開始したことにより、成猫の引取り数を大きく減少させることができた。 また、管内で猫3匹の不審死事例が発生したため、調査したところ、うち2匹は頭部の損傷が死因であると考えられた。 今後も、猫の原則引取り拒否を行うとともに、「おおいたさくら猫プロジェクト」の取組を拡大し、殺処分される猫の頭数削減に努める。</p> <p style="text-align: right;">（衛生課）</p>	○ 石本 亘 宇都宮公平 山下佳史 橋本啓一 坂本光
令和2年度環境衛生 監視員等事例研究発表会	<p>題目：ITを活用した業務効率化の取組について</p> <p>論旨：新型コロナウイルス関連業務に対応できる時間を確保するため、各保健所（保健部）の環境担当者の業務効率化を図り、法規集、申請等様式及び事務処理要領等を集約したSAIシステムの再構築を試みた。 また、Excel等を活用した業務補助ファイルを作成することにより、既存の業務に関する事務処理時間を大きく短縮することに成功した。</p> <p style="text-align: right;">（衛生課）</p>	○ 坂本 光
第14回宇佐・豊後高田 地域看護研究発表会	<p>題目：管内の高齢者施設における感染症対策の現状と課題</p> <p>論旨：北部保健所では、健康危機管理対策に係る施設フェイスシートを5年ごとに更新している。R2年度の結果分析により、高齢者施設の感染対策として感染対策委員会の未設置や感染症マニュアルが不十分であるとともに、職員研修に関する課題が明らかになった。そこで、施設内での標準予防策の徹底が継続できるよう、研修教材パッケージを作成した。今後も感染対策の充実に向けて保健所事業を通して取り組んでいく。</p> <p style="text-align: right;">（地域保健課）</p>	○ 新貝 桃佳 松原 麻夏 河野 美恵 梶原 美佐 山下 剛